



# 学校だより 5月号

石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和4年4月28日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## 創立149周年に寄せて

副校長 橋爪 純子

新緑が美しい季節となりました。先日は、1年生を迎える会や、5月実施の運動会に向けての開幕セレモニーが実施され、全校そろっての活動も始まりました。子どもたちは新しい環境に慣れてきているようで、様々な活動に意欲的に取り組んでいます。

そのような中、4月25日に創立記念式を行いました。本校は、今年度、創立149周年を迎えます。体育館でみんなでスライドを見ながら石川小学校の歴史を振り返り、クイズも交えながら、歴史をつないでいこうという思いや、学校を大切にしようとする心情を全校の子どもたちが共有しました。昨年度の創立記念式は、まん延防止等重点措置が適用される状況であることを鑑み、集まることを控えてテレビ放送にて実施しました。今年度は一堂に会することができ、嬉しく思います。以前は、集まって行事を行うことは当たり前のこととっていたのですが、今はこのように集まることは有難いことなのだと思わずにはられません。全校児童が集まって顔を合わせて、学校を思う気持ちを共有することで、愛校心をより高められたのではないかと思います。

私自身は、本校に着任して1年が経ったところです。石川小学校のよさや地域の方々のあたたかさをたくさん感じた1年間でした。着任して間もなくの頃、雨の日が続く時期に、地域の方々のあたたかさを感じる場面がありました。朝、出勤する際、私は石川町駅から学校までの道のりを歩いています。歩道があるのですが、幅がそれほど広くはないため、傘を差す人同士がそのまますれ違うことはできません。そのようなとき、駅へ向かう方々は、皆さん、傘をすつと反対側に傾けて、お互いが通れるようにしてくださるのです。歩道の幅が狭くなっているところでは、止まって譲ってくださる方もありました。このことに気付いたとき、「傘かしげ」という言葉を思い出しました。狭いところで、すれ違う相手に傘のしずくがかからないように、相手と反対側に自分の差している傘を少し傾けるしずくのことを「傘かしげ」というそうです。この出来事から、地域の方々のあたたかさを感じるとともに、自分も、その場でともに過ごす人がお互い気持ちよく過ごせるような心遣いができる人でありたいと改めて思いました。

目まぐるしく変化する世の中であっても、人の心には、変わらず大切にしていきたいものがあると思います。学校でも、人と人とのつながりの中で、お互いを思いやることのできる豊かな心を育てていきたいと考えています。本校においては、「石川魂」の学校教育目標のもと、子どもたち一人ひとりの成長を支えてまいります。今後とも、本校の教育活動にご支援、ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。